

漁連だより

2025

10・11

No.359



第42回長崎さかな祭りの様子

CONTENTS/目次

第42回長崎さかな祭りの開催	P1	長崎女子短期大学にて水産教室を開催	P6
長崎県定置漁業協会第56回通常総会の開催	P2	令和7年度ながさき水産業大賞表彰式	P7
小型いか釣り漁業(5t以上30t未満)のTAC超過によるスルメイカ採捕停止命令に基づく陳情活動	P3	募金ありがとうございます	P7
大阪府にて先進地視察研修を実施	P3	漁業法及び水産流通適正化法の改正について	P8
令和7年度九州地区漁青連会長の開催	P5	白子が大きい全雄トラフグの開発と現場導入について	P10

第42回長崎さかな祭りの開催

総務指導部 指導課

当日は晴天の中、オープニングセレモニーとしてテープカットが行われ、さかな祭りがスタートしました。養殖マグロ・ヒラスの刺身試食会や、くじら雑煮の試食会が実施され、整理券を求める来場者で長蛇の列ができていました。当祭りの人気イベントである「お魚すくい捕り」「模擬セリ」についても、開始早々多くの来場者が集まり大盛況となりました。



テープカットの様子

さる11月2日に長崎魚市場で本県水産物をPRすることを目的に、『第42回長崎さかな祭り』が開催されました。各種イベントや水産加工品が格安で販売されることから、会場には多くの家族連れが来場し、終日賑わいを見せていました。



煮干の水族館の様子

本会ブースでは、「パネル展示」、「マダイの重量当てクイズ」、漁青連による「煮干の水族館作り」、長崎市水産センターと連携し「魚タッチプール」を行いました。煮干の水族館では、10種類の魚が載った用紙に沿って煮干を見つけ出すという催しですが、老若男女問わず多くの人で賑わいました。特に子供からの人気が高く、魚を必死に探し出す姿はとても印象的でした。

マダイの重量当てクイズでは、約2.5キロのマダイを展示し、午前と午後の2



マダイの重量当てクイズの当選者の様子

回に分けて行いました。投票用紙をもらうために長蛇の列ができ、午前・午後で約300枚ずつ用意していた投票用紙が瞬く間になくなりました。投票用紙を受け取った来場者はとても真剣な面持ちで、両手を広げて測ったり、指を使って長さを測ったりしていました。当選者が発表されると喜びの声と落胆の溜息が入り混じり、重量が一番近かった投票者へ展示していたマダイを、26位に1キロ前後の養殖マダイを景品として渡しました。当選者は笑顔で帰路につき大変好評でした。

長崎県定置漁業協会第56回通常総会の開催

長崎県定置漁業協会

さる10月3日、長崎県漁協会館にて、長崎県定置漁業協会（草野会長・五島漁協所属）の第56回通常総会を開催しました。

本協会は、会員相互の親睦協調を図り、本県定置網漁業の振興と経営の安定に寄与することを目的としており、毎年県外県内へ定置網の視察等を行い、技術の研鑽に取り組んでいます。

総会当日は、会員46名、賛助会員25名の他、行政・系統団体関係者含め84名が出席し、全議案が原案どおり可決されました。総会終了後には研修会を開催し、講演が行われました。

◆ 功労者表彰

総会に先立ち、令和6年度功労者表彰を行い、本県の定置網漁業の振興に寄与された方に、賞状と記念品が贈られました。

〔長崎県漁連会長賞〕

小川 勇 氏(平戸市漁協所属)

〔長崎県定置漁業協会会長賞〕

斉藤 浩幸 氏(美津島町漁協所属)

◆ 総会

始めに草野会長の主催者挨拶、来賓より長崎県漁連高平会長及び長崎県水産部吉田部長（中尾次長代読）からの祝辞の後議案に入りました。議長には草野会長が選任され、各議案審議を行い、全議案とも原案通り承認されました。

○第1号議案 令和6年度業務報告及び決算承認の件

○第2号議案 令和7年度事業計画及び収支予算（案）承認の件

○第3号議案 会費増額及び会員区分変更の件

○第4号議案 その他の件

- ・新規加入会員の報告
- ・長崎県定置漁業協会の件



功労者表彰の様子（小川氏）



挨拶を行う草野会長

◆ 研修会

始めに今年5月に鹿児島県にて開催された定置専長研修会の報告を岡野専長委員（峰町東部漁協所属）より行われました。次に長崎県水産部漁業振興課伊藤主任技師より「ぶりのTAC管理について」、水産加工流通課石田主任技師より「漁業法及び水産流通適正化法の改正（クロマグロ関係）について」講演が行われました。講演後は、質疑応答の場にて、長崎県水産部への要望も行い、本協会にとって有意義な時間となりました。

総会終了後には懇親会を開催し、盛会裏に終了いたしました。

小型いか釣り漁業(5 t以上30 t未満)のTAC超過によるスルメイカ採捕停止命令に基づく陳情活動

総務指導部 指導課

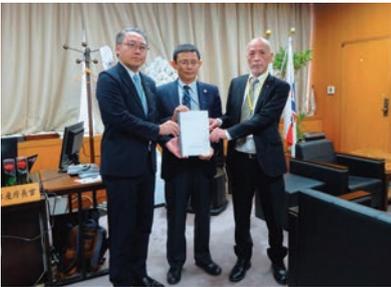
さる10月31日に大石長崎県知事及び本会高平会長の2名が本県を代表し、農林水産省山本政務官及び藤田水産庁長官に対し、小型いか釣り漁業(5 t以上30 t未満)のTAC超過によるスルメイカ採捕停止命令に基づく陳情活動を実施しました。

本件につきましては、主に北海道、青森県においてTAC対象魚種であるスルメイカの漁獲が積



山本政務官への陳情の様子

み上がり、長崎県が漁期(例年1月頃～3月)を迎える前の9月末時点で、小型いか釣り漁業によるTAC上限(4,900 t)を超える5,844 tの漁獲実績となったことを受け、11月1日から「採捕停止命令」が発出されることとなりました。これにより当該管理区分(小型いか釣り漁業)において全国でスルメイカが漁獲できなくなり、長崎県の漁業者への影響が計り知れないことから、長崎県と連携し、本県いか釣り漁業者の窮状を訴えて参りました。



藤田水産庁長官への陳情の様子

大阪府にて先進地視察研修を実施

長崎県漁協専務参事会

さる10月22日から24日にかけて、大阪府の田尻漁業協同組合および泉佐野漁業協同組合にて先進地視察を実施しました。

長崎県内の漁村においては、人口減少や高齢化が進行しており、漁村の賑わいを創出していくことが重要な課題となっています。今回の視察研修では『海業』の先進事例を研究し、漁村が持つ地域資源や魅力を生かして地域の活性化に取組むための知見を深め、漁協経営に反映させることを目的に実施しました。

【田尻漁業協同組合】

田尻漁協は関西国際空港の対岸に位置しており、関西国際空港(1994年開港)の埋め立て工事に伴い、漁業者の水揚げは深刻な影響を受けました。このような中、漁業者の所得改善と漁協経営の安定化を目的に、毎週日曜日の朝市開設をはじめとする経営の多角化を進め、現在では漁協の重要な収益源となっていることとしました。

1994年に開設した「田尻漁港日曜朝市」では、組合員をはじめ地元業者による40店舗あまりが出店しており、鮮魚、野菜、加工品等を販売しています。南海電鉄と連携した「南海うまいもん祭」、農業者と連携した「泉州黄たまねぎ祭」など、年に数回特別イベントを実施



BBQ 施設兼、カキ焼き小屋の様子



ヨット係留施設の様子

しているほか、海鮮BBQ会場を併設しており、漁業者が鮮魚を捌いてBBQ用の食材として提供しています。また、2018年には会場を全天候型に改修し、天候に左右されない運営が可能となりま

した。今ではテレビやSNSでも取り上げられ、地域のイベントとして定着しており、交通整理が必要となるほど多くの来場があるとのことでした。

さらに、漁港を活用したマリリーナ事業として、1994年にヨットや水上バイクの係留施設を整備し、2000年には海上釣り堀事業も開始しました。いずれも運営は外部に委託しており、漁協への負担が少ない形で多様な事業が展開されていました。その他、日曜朝市の開設に合わせ、刺網漁やかご漁などを体験できる漁業体験の受け入れも実施しており、漁業への関心を高める取組みを行っているとのことでした。

【泉佐野漁業協同組合】

泉佐野漁協は大阪府泉佐野市に位置する漁協であり、府内最大規模の小型機船底引き網漁業の拠点として知られています。紀淡海峡や泉州南沖の豊かな漁場を生かし、ガザミ、タコ類、イカ類、カレイ類、貝類、エビ類など多種多様な魚介類が漁獲され、組合員数は129

名(正組合員68名、准組合員61名)が所属しています。

正組合員数は15年間で112名から68名へと約40%減少しているものの、漁獲高は5.6億円から5.2億円と約10%の減少に留まっています。ブランド化への取り組み、資源管理、貝毒発生抑制のための海底耕耘などが、安定した漁獲高につながっているとのことでした。また、市場の運営や、鮮魚店等約30店舗が入る「青空朝市」の管理、その他様々なイベントの開催などに取り組んでおり、職員数は7名と少人数ながらも効率的な運営を実現していました。

青空朝市では市場で競り落とされた鮮魚が店頭に並び、視察時は平日にも関わらず、多くの外国人観光客が訪れており、活気のある様子が見受けられました。休日には約100台収容の駐車場が満車になるほどの来場があるとのことでした。

本研修では、海業の先進事例である田尻漁協および泉佐野漁協を視察し、海業による経営安定化対

策や、効率的な市場運営モデルなど、多くの実践的知見を得ることができました。本会では今回の視察研修で学んだことを、県下漁協の発展につなげられるよう、努めていきたいと考えています。



セリの様子



出荷の様子

令和7年度 九州地区漁青連会長会の開催

長崎県漁協青壮年部連合会



会議の様子

さる10月9日、沖縄県の沖縄県水産会館にて令和7年度九州地区漁青連会長会が開催され、本会からは與賀田会長、稲田副会長、牧島顧問が出席しました。

当会長会は、九州地区漁青連の連携を通じ、各県青年部（青壮年部）の組織強化と活性化を図ることを目的に、毎年各県持ち回りで開催されています。平成11年度に第1回目を開催しており、27回目を迎えた今年度は、沖縄県が幹事を務め、

各漁青連の会長をはじめ32名が一堂に会しました。

開会にあたり、幹事県である沖縄県漁協青壮年部連絡協議会の宮城会長による挨拶の後、出席者による自己紹介が行われ、第1号議案の各県における活動報告に移りました。各県の活動報告では、「魚食普及を目的とした料理教室、捌き方教室や各会員の横のつながりを目的としたスポーツ大会等のイベントを開催した」との報告がありました。

第2号議案は全青連九州ブロック役員選出について協議が行われました。今年度で全青連の役員が任期満了を迎え、現役員の佐賀玄海 袈裟丸部長、沖縄県金城顧問の両名とも退任する意向であり、九州地区より理事2名、監事1名を選出する必要があるとの説明が



講演の様子

ありました。協議の結果、理事として長崎県 與賀田会長、福岡県 上野会長、監事として宮崎県 黒木会長が役員候補者となりました。また、議案終了後の講演会では、「ソデイカの資源管理に関すること」と題して、沖縄県水産海洋センター北研究員より講演が行われました。

会議終了後には、各県青年部（青壮年部）の親交を深めることを目的に懇親会が行われ、締めめの挨拶として来年の幹事県である長崎県の與賀田会長より、幹事県へのお礼と来年の開催に向けての意気込みが語られ、盛況のうちに終了しました。



與賀田会長の挨拶

長崎女子短期大学にて水産教室を開催

長崎県漁協青壮年部連合会

さる10月27日および11月20日に長崎女子短期大学の1年生、2年生に対し「水産教室」を開催しました。

これから食のプロとして活躍される長崎女子短期大学の学生を対象に授業の環境として長崎県産の魚介類を使った水産教室を開催しました。

例年1年生、2年生を対象に年2回実施しており、総勢約50名に対し実施しました。

学校側の要望により、1年生は捌きやすい魚種ということでマアジを、2年生はアオリイカを捌く形でスタートしまし



牧島顧問の実演の様子



與賀田会長が教えている様子



水産教室の様子



た。まずは牧島顧問による実演が行われ、調理場に設置されたモニターを食い入るように見つめ、熱心にメモを取る姿が見られました。

実演が終わると生徒が各班に分かれて調理を開始し、一人1匹ずつ捌き終えた後、刺身やフライ、天ぷら等に調理し、最後には自分で調理した料理を笑顔で試食していました。

調理中、生徒からは「どういう風に包丁を入れたらいいですか」「皮の引き方や刺身を綺麗に切るコツを教えてください」など、積極的な質問が寄せられ、真剣な表情で聞いていました。また、上手に捌けた際には、本会役員から「上手

ね！」と声をかけられ、嬉しそうに笑顔になる姿がありました。

特に2年生は、普段扱う機会が少ないイカであったこともあり、墨袋が破れてまな板が真っ黒になったり、天ぷらを揚げる際に油が跳ねたりと、試行錯誤しながら調理に取り組む様子がとても印象的でした。

本会としては、長崎県の魚を若い世代に知ってもらうこと、そして実際に魚に触れ、捌いて食べることで身近に感じてもらうことを目的に、今後も魚食普及活動に取り組んで参ります。

令和7年度 ながさき水産業大賞 表彰式

総務指導部 指導課



受賞された 新松浦漁業協同組合
福島くるまえび養殖場（松浦市）

さる11月15日、長崎市の長崎サンプリエールにて、ながさき水産業大賞運営委員会主催による「ながさき水産業大賞」表彰式が行われました。

ながさき水産業大賞は、長崎県水産業振興基本計画に沿って、地域の特色を活かした先進的な活動を展開し、成果を上げている漁業者及び組織等を表彰するもので、今年で17回目を迎えます。

「優良経営部門」「技術革新・人材育成部門」「魅力ある漁村づくり部門」「特別部門」の4つの部

門について、審査が行われ、長崎県知事賞、ながさき水産業大賞運営委員会賞、特別賞、長崎県漁業協同組合連合会長賞が贈呈されました。長崎県漁業協同組合連合会長賞の受賞者に、本会田代専務より表彰状が授与されました。

今回は長崎県漁業協同組合連合会長賞に表彰された受賞者及び、取組事例について掲載します。

○技術革新・人材育成部門

受賞者名：新松浦漁業協同組合
福島くるまえび養殖場（松浦市）

【取組概要】

ICTブイ（水温や塩分濃度等をリアルタイムで確認できる機器）と酸素発生装置を組み合わせたシステムの導入によるスマート化に取り組み、養殖場の夏場のへい死軽減と生産性の向上を図ったことで、販売高および市場単価の向上、養殖作業の負担軽減につながった。また、地元小学校の水産教室の受け入れや、松浦市のふるさと納税返礼品として、「活きくるまえび」や「くるまえびみそ漬け」を出品するなど地域水産業の振興に貢献している。

募金ありがとうございます

（公財）漁船海難遺児育英会

（公財）漁船海難遺児育英会は、漁船の海難事故（転覆・衝突等）や海中転落等の事故により、親を亡くされた遺児の経済的・精神的援助を目的に設立され、幼児から小中高生・大学生に学資事業を行っています。

しかし、教育費の高騰により資金的にはまだ十分とはいえませんが、今後とも皆様の温かいご協力をよろしくお願いいたします。

10月、11月には次の方々からご寄付をいただきましたので、ここに厚くお礼申し上げますとともに、紙上にお名前を掲載させていただきます。（敬称略）

【団体】

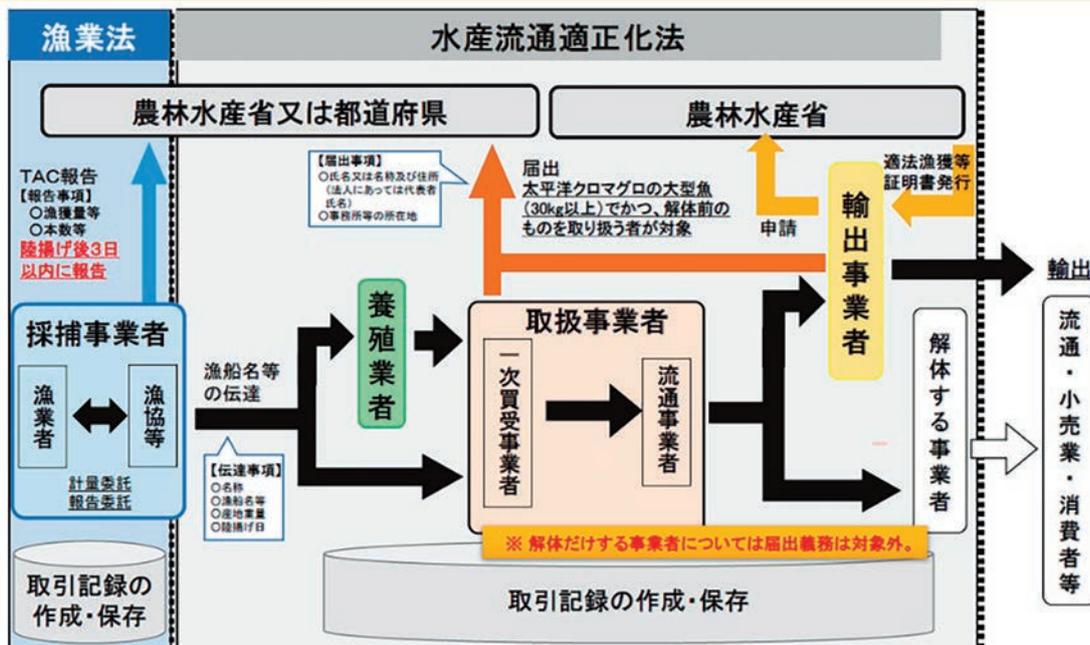
- ▼中五島高等学校
- ▼本会（さかな祭り時募金）

漁業法及び水産流通適正化法の改正について

長崎県水産部漁業振興課 水産加工流通課

制度の概要(漁業法及び水産流通適正化法の一部改正)

資源管理に関する国際的な枠組み等を勘案して特に厳格な漁獲量の管理を行う必要があると認められる「太平洋クロマグロの大型魚(30kg以上)でかつ、解体前のもの」について、以下のとおり漁獲から流通までの管理を強化



令和8年4月1日より一部改正された漁業法及び水産流通適正化法に基づき、クロマグロ大型魚(30kg以上)について

は管理が強化され、これを取り扱う事業者に対し新たな義務が課されますので、その概要について説明します。

■背景

クロマグロは、平成27年より中西部太平洋まぐろ類委員会(WCPFC)において国際的に漁獲枠の管理がなされています。そのような中、令和4年などに、漁業法第三十条に基づく漁獲量等の報告(以下「TAC報告」という。)がなされていないクロマグロ大型魚が、漁業者と流通事業者の共謀により不正に流通するという事案が発生しました。これにより、水産庁は我が国資源管理への国際的信用を取り戻すため、当該違反の再発防止策を講じる必要性から法改正を行いました。

■漁業法の改正

クロマグロ大型魚を、今回の法改正により新たに設ける「特別管理特定水産資源」に位置づけ、当該資源に対し、主に以下の4つの項目に係る管理強化がなされることとなります。

- ① TAC報告事項への個体数の追加と報告期限の短縮化(原則、陸揚げ後3日以内)
- ② TAC報告時に用いている情報(船舶等の名称や個体重量等)の記録の保存義務化
- ③ TAC報告義務違反等の罰則に係る法定刑引き上げ(従来…6月以下の拘禁刑30万円以下の罰金↓改

正後（クロマグロ大型魚のみ）1年以下の拘禁刑、50万円以下の罰金）及び法人重科（1億円以下の罰金）の新設

④ TAC報告義務違反後に引き続き同違反をするおそれがある場合、即時停泊命令を可能とする規定へ改正

これらの規定により、漁業者による違法クロマグロ大型魚の流通・販売を抑制するものです。ただし、①については採捕の実態を勘案し、3日以内が適当ではない場合は各県資源管理方針で別途期間を定められるとあり、地域や状況等を限定したうえで、これ以外の期間を定める可能性もあることから、進展があり次第、皆様にもお知らせしてまいります。

■水産流通適正化法の改正

本法の対象であるアワビ、ナマコ、ウナギの稚魚（令和7年12月追加）に加え、新たに対象となるクロマグロ大型魚については、次の義務が課されます。

- ① 取扱事業者の国または県への届出（アワビ・ナマコで取扱事業者の届出※済みの場合は不要）
 - ② 情報（漁船名等、産地重量、陸揚げ日等）の伝達
 - ③ 取引記録（②情報伝達事項に加え販売時重量、販売日等）の作成・保存
 - ④ 輸出時の適法漁獲等証明書の添付
- ※採捕事業者の届出とは異なります。

また、これまで届出を怠った場合、勧告・命令を経ず直罰として50万円以下の罰金が科されていましたが、新たに情報伝達および取引記録の作成・保存を怠った場合も同直罰が科されるようになります。

①取扱事業者の届出については、本年10月より事前の届出受付が開始されており、組合員からの委託販売等の共販を行う漁業協同組合も取扱業者に該当しますので、アワビ・ナマコで取扱事業者の届出を行っていない漁業協同組合や、他者が漁獲・養殖したクロマグロ大型魚の販売等を行う方は届出が必要になります。なお、県への届出方法は別途お知らせしますので、内容を確認のうえ届出をお願いします。

■まとめ

以上2つの法律の改正により漁獲から流通までの管理を強化し、違法クロマグロ大型魚の流通防止に取り組むこととなります。改正内容の詳細については水産庁HPをご覧ください。

水産庁HP



令和8年4月からは、太平洋クロマグロ（大型魚）について、TAC報告における本数等の報告と記録の保存、取引時における情報伝達と記録の保存が義務付けられます。

詳しくは水産庁Webサイト

違法に漁獲されたクロマグロの流通防止にご協力をお願いします。

水産庁 水産流通適正化法

水産庁

県としても関係者の皆様に漏れなく対応いただくため、引き続き説明及び周知等に努めてまいります。また、不明な点がございましたら文末に記載の各担当に連絡いただくか、各振興局水産課にお尋ねください。今回の法律改正の趣旨にご理解いただき、対応くださいますようお願いいたします。

■県担当者

【漁業法】

漁業振興課資源管理担当

電話：095-895-2823

【水産流通適正化法】

水産加工流通課国内流通振興担当

電話：095-895-2871

白子が大きい全雄トラフグの開発と現場導入について

長崎県総合水産試験場
種苗量産技術開発センター 魚類科

はじめに

長崎県におけるトラフグの養殖生産量は1,237トン（令和4年）で、国内の44%を占めています。また、養殖に不可欠な稚魚の生産も盛んで、県内7つの種苗生産機関が、国内全体のおよそ8割の養殖用種苗を供給しています。このようにトラフグは、本県における極めて重要な養殖対象種ですが、近年は物価高に伴うコスト増大や、魚病や赤潮の頻発などにより、漁家経営は厳しい状況にあります。

長崎県総合水産試験場（水試）では、トラフグ養殖経営の安定化に貢献することを目的として、高値で取引される精巢（白子）に着目した2つの研究に取り組んでいます。すなわち、①白子を持つ雄だけを選択的に生産する**全雄生産技術開発**と、②白子が発達しやすいトラフグを作ることを目的とした**白子早熟系統の選抜育種**です。今回は、これらの技術開発の進捗と、全雄トラフグの現場導入状況について報告します。

①全雄生産技術

水試では、東京海洋大学との共同研究により、代理親魚技法を用いた全雄生産技術の開発に取り組み、平成27年に全雄トラフグの生産に成功しました。平成30年からは、県内養殖業者等と連携した全雄トラフグの養殖試験を行っています（技術の詳細については本誌の令和元年10月号に記載していますので、併せてご覧ください）。

②白子早熟系統の選抜育種

トラフグの雄だけを選択的に生産することが可能となりましたが、全雄種苗の市場価値を高めるためには、白子が大きく発達するような品種改良が不可欠です。そこで、平成28年から、東京大学と連携し、遺伝的に白子が発達しやすい系統（白子早熟系統）の選抜育種に着手しました。本研究では、生物の設計図ともいえるゲノム情報（※）を解析し、白子が発達しやすい遺伝的特徴を持った親を、効率的に探し出すことを目的としています。これまでに二世代の選抜・評価を終えており、選抜前の集団では67グラムだった白子の平均重量が、選抜第二世代では117グラムにまで増大しました。（図1）。選抜育種は令和8年まで継続し、白子がさらに大きくなる系統を確立する予定です。

※ゲノム情報 親から子へと受け継がれる生き

もの特徴を決定する遺伝情報のこと

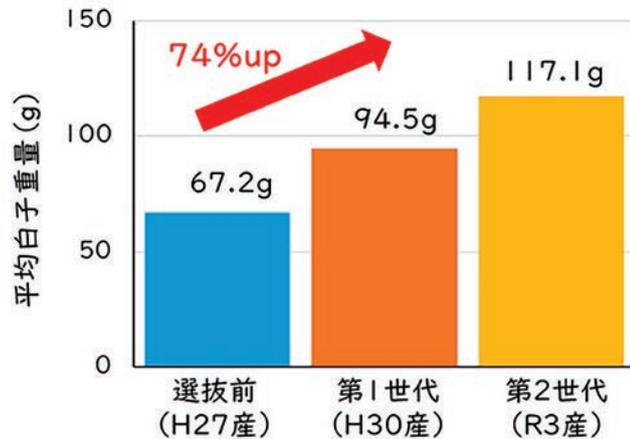


図1 白子早熟系統の選抜育種の効果

全雄種苗の現場導入状況

全雄生産技術の確立以降、県内養殖業者等と連携した養殖試験を実施しており、全雄トラフグの段階的な普及と現場導入を図っています。これまでに、県内の全雄種苗導入尾数は年々増加しており、このうち合計51万尾が関西や下関などの市場に出荷されています（図2）。全雄トラフグは、我々の期待通り市場で高い評価を得ており、雄雌が半々に含まれる通常のトラフグに比べて、単価及び体重ともに1割増しとなっています（図3、図4）。

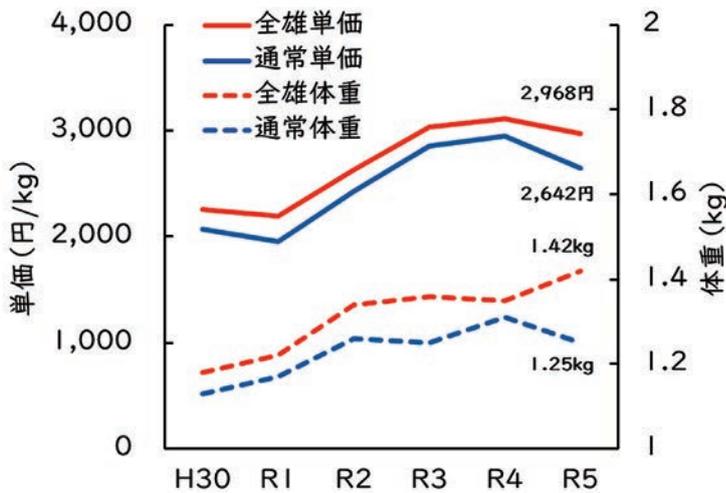


図3 全雄トラフグの単価及び体重

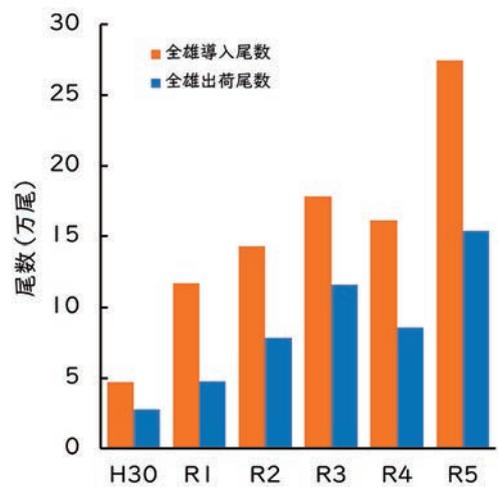


図2 全雄トラフグの導入及び出荷状況

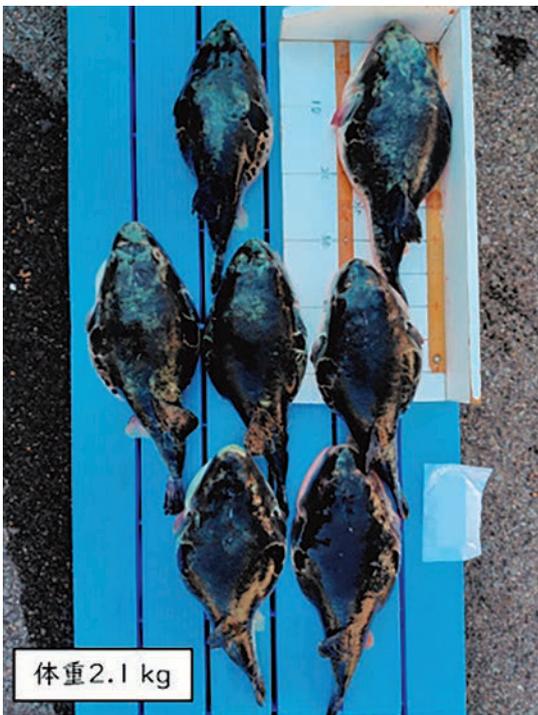


図4 令和5年産全雄トラフグ出荷魚 (令和7年1月22日測定)

おわりに

全雄種苗の現場導入により、白子が過剰供給となり価格が暴落することは避けなければなりません。

令和6年からは、全雄生産技術と白子早熟系統の選抜育種の技術融合に成功し、「白子が大きく発達する全雄トラフグ」(白子早熟全雄)の試験的な供給を開始しています。今年度は、県内の養殖業者30者が40万尾を超える全雄種苗を導入していますが、このうち34万尾が白子早熟全雄となっています。これまでのところ、これら種苗の成育状況は良好であり、来年の冬場には、これまで以上に白子が大きく発達した全雄トラフグの出荷が期待されます。

今後とも、養殖業者および消費者ニーズに合った魅力ある養殖魚を供給できるよう、研究開発に取り組んでまいります。なお、本研究の一部は、農研機構生研支援センター「イノベーション創出強化研究推進事業」の支援を受けて実施しています。

(担当 吉川 壮太)

漁船海難月報

令和7年11月号 第七管区海上保安本部
第264号 交通部安全対策課 発行

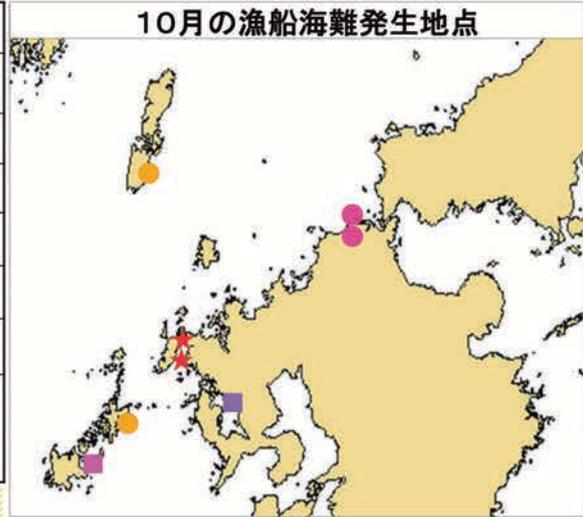
BACKNUMBER



令和7年10月発生
七管内漁船海難 8隻

令和7年10月末現在 累計 53隻
漁船海難発生隻数は前年に比べ **3隻増加**

漁船海難隻数 (速報値)		県別内訳	
		10月	令和7年累計
衝突	★ 2	山口県 0	10(6)
乗揚	● 2	福岡県 2	11(6)
火災	● 2	佐賀県 0	2(4)
運航不能 (舵障害)	■ 1	長崎県 6	30(27)
運航不能 (推進器障害)	■ 1	大分県 0	0(7)
合計: 8隻		合計 8隻	53隻(50隻) ()は昨年同月



累計死亡・行方不明者数 2名(令和7年10月末日現在)

船舶火災に注意!!



※画像はイメージです

10月の事故事例(火災)

係留中の漁船にて、電気配線を原因とした火災が発生し、さらに隣の漁船に延焼、その後、消防により鎮火されました。火災の原因は、バッテリーから船橋への給電線の断線による短絡(ショート)でした。

船舶火災を防ぐために

船舶火災の多くは、機器を適切に使用すればリスクを軽減できる可能性があります。日頃から、設備・機器等の日常点検や交換・整備を怠らないようにしましょう。

電気系統 【電線の劣化による短絡(ショート)】...電線の劣化等により短絡(ショート)や漏電が起き、火災となります。劣化した電線は専門業者に依頼し、交換しましょう。



【素人の不適切な配線による火災!】バッテリーに直付けで電源を取っていた機器配線の短絡(ショート)による火災も発生しています。電装品を取り付ける場合は、専門業者に相談しましょう。

【バッテリー端子の緩み】...バッテリーの取付や端子部の緩みに注意しましょう。航行中等に振動等によって端子部が暴れ火花が散り、電線やほこり等が燃え火災となります。ほこり等の汚れも定期的に清掃しましょう。

【作業時の接触到注意!】バッテリー交換を実施する際、バッテリーと配線が接触し火災が発生しています。電気系統の作業時の配線や工具の接触には気を付けましょう。

【爆発の危険】バッテリーは、充電時に可燃性の水素ガスを発生しますので、十分な換気を行いましょう。また、バッテリー液量不足のまま使用していると爆発することがあります。バッテリー液の確実な点検補給をお願いします。

機関系統

【燃料漏れ、潤滑油漏れ】...燃料や潤滑油が漏れて、排気管や過給機などの高温部にかかると火災となります。各配管の漏れやこし器の緩みなどしっかり点検して、異常があればすぐに整備しましょう。

【排気管】...排気管は特に高温になる部分であり、排気管付近に可燃物を置くと火災になります。また、排気漏れや防熱材の劣化は放置せず、しっかりと交換整備しましょう。

インターネットショッピングサイト

長崎県の安全・安心で新鮮な鮮魚・加工品を
インターネットを通じてダイレクトに食卓へお届けします!!
美味しいものはここにある

長崎漁連

ウェブショッピング JF長崎漁連

<https://www.jf-nagasaki.com>

長崎自慢の海産物を
ネットでお取り寄せ!

JF 長崎県漁業協同組合連合会

漁船の衝突事故が多発しています

衝突事故に注意

他船との衝突事故が最多

漁船事故種類別割合 (令和2～令和6年)
2,246隻

衝突	25% (564隻)
無人漂流	14% (306隻)
高橋	10% (229隻)
転覆	10% (217隻)
推進器・舵故障	8% (184隻)
火災	8% (173隻)
その他	25% (573隻)

衝突時の乗船人員

2人乗り以下が8割

衝突原因別割合 (令和2～令和6年)
564隻

見張り不十分	76% (424隻)
不可抗力など	6% (34隻)
操縦手過剰	6% (34隻)
操縦手過少	12% (70隻)
衝突原因不明	12% (70隻)
その他	23% (129隻)
衝突時の乗船人員	564隻
1人	55% (311隻)
2人	22% (124隻)
その他	23% (129隻)

水産庁 海上保安庁

水産庁 〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1
TEL: 03-3592-0731

海上保安庁 〒100-8976 東京都千代田区霞が関2-1-3
TEL: 03-3591-6361

あっぱれ

船舶塗料の専門店

山二塗料株式会社

0956-31-8020

095-837-8020

099-260-0600

まごころで大きく包む

パッケージ資材全般・包装機械

株式会社 丸本

まごころちゃん

本社・営業部 / 〒851-0134 長崎市田中町593-1
☎ 095-837-8205 FAX 095-837-8208
工場・営業所/福岡工場・熊本工場・福岡営業所

定置網周辺の潮流・水温リアルタイム計測

潮流・水温観測用パイ

株式会社ゼニライトパイ

九州営業所 TEL: 092-674-0001 FAX: 092-674-0002

日付	時刻	電圧 (V)	電流 (mA)	流速 (cm/sec)	温度 (°C)
2023-07-09	08:40:36	6.00	24.1	20.23	15.26
2023-07-09	08:40:36	6.00	24.1	20.49	11.92
2023-07-09	08:20:33	6.00	24.4	20.48	11.95

ハイビジョン (23.0cm ~ 28.0cm)

シーガル201

シバタ工業株式会社

長崎出張所 〒852-8124 長崎市辻町3-40 平山ビル1F
TEL: 095-844-1210

FURUNO

漁視ネット

型式 FMS-100

古野電気株式会社

長崎営業所 095-861-3261 福岡営業所 092-711-1777 佐世保営業所 0956-48-4440

Printing & Planning SEIBUNSHA

(有)正文社印刷所

〒850-0874 長崎市魚の町6番6号
TEL (095) 826-0211
FAX (095) 825-0538
URL <https://seibunsha.jp>

貝殻
リサイクル魚礁



JFシェルナース



魚礁
(6.0型)



イサキ(対馬市)



ヒラマサ(西海市)



メバル(佐世保市)



イセエビ(新上五島町)



マダイ(対馬市)



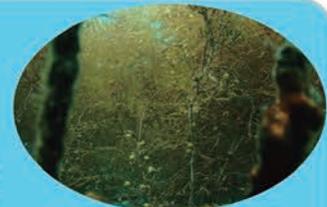
マアジ(南島原市)

保護礁
(フラス1.0型)



漁業者による
種苗の準備

取り付けた海藻は
順調に
生長しています!



設置10年以上経過
ホンダワラ類(長崎市)



2カ月後(長崎市)



1年2カ月後(対馬市)



1年5カ月後(平戸市)

漁師の考えた小型ブロック

貝藻くん



60cm×55cm×45cm、重量60kg

長崎県内で1,156基(全国約12,573基)
ご採用いただいております(2013~2024.4.1現在)



クロメ生育状況



下の隙間に隠れるクエ

お問合せ先 JF長崎漁連 購販部 購買課 TEL 095-829-2420

開発・製造 海洋建設株式会社



JF
JFグループ

着けよう、
あなたが家族のことを
思うなら。

めざせ！
海難事故

自分の命は自分で守る！
わずらわしさと窮屈さから解放！
ベスト感覚で着れる
ファッションなライフジャケット
常時着用型救命胴衣(自動膨張式)

膨張時

反射リフレクター
エア-吹入補充バルブ
ホイッスル
炭酸ガスボンベ
手動レバー

お問い合わせは、長崎県漁連 購買課まで TEL 095-829-2418~2420

「ギョレンオイル大漁」 発売から 50 年



「ギョレンオイル大漁」は、漁船で使用される機械とその使用条件を考慮して定めた規格に合わせて開発した、漁船のためのエンジンオイルです。

ギョレンオイル
大漁
シリーズ

大漁スーパー

中・小型漁船の高速エンジン用 (SAE30、40、15W-40)

大漁ロイヤル

大・中型漁船の中・低速エンジンオイル (SAE30、40)

大漁LL

大・中型漁船の長期航海用 (30、40)
小型高出力エンジン用のロングライフオイル (15W-40)

大漁ハイドロスーパー

耐荷重性に優れた漁船用油圧作動油 (ISO VG32、46)

大漁ベストクール

陸上冷凍装置から遠洋漁業の超低温冷凍装置まで (ISO VG32、46)

漁協は、JFグループへ。

JFブランド商品

“ギョレンオイル大漁シリーズ”

漁船用エンジンのための最高級オイル。

〈エンジンオイル〉

- 大漁スーパー
- 大漁ロイヤル
- 大漁LL

〈油圧作動オイル〉

- 大漁ハイドロスーパー

〈冷凍機オイル〉

- 大漁ベストクール



海には、JFマークの商品を。



JFグループ

問い合わせ先
問い合わせ先

JF全漁連 購買事業部 石油第2課
JF長崎漁連 購買課

TEL 03-6222-1323
TEL 095-829-2419



発行/長崎県漁業協同組合連合会

〒850-8686 長崎市五島町2番27号 TEL095-829-2413
年間購読料 2,000円 (会員の購読料は会費に含む)

長崎県漁連 WEBサイトアドレス
<http://www.nsgyoren.jf-net.ne.jp/>

